



臨床病理検討会 (CPC) 開催報告

初期臨床研修医 小澤天祐

12月16日、令和4年度第2回目となる臨床病理検討会(CPC)が開催されました。CPCは当院での剖検症例を対象に毎年行われています。今回は、東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 病態病理学分野 古川徹教授にお越しいただき、剖検所見および病理診断について解説を賜りましたのでここにご報告いたします。



まず1年次研修医(小澤、鈴木、富士)が症例の臨床経過を提示し、臨床上的不明点を参加者で共有された上で討議が行われました。今回の症例は入院中に急激な呼吸状態の悪化をきたし息を引き取られた方の症例で、その臨床経過からは疑問の残る部分が多く、死因の究明には剖検および病理診断が必要でした。古川先生の病理学的解説により、画像検査や生化学検査等では検出できなかった数々の疑問点を、快刀乱麻を断つがごとく解決することができました。さらに、病態と関わりの深い論文についての解説もしていただき、経過をより深く理解することの一助となりました。

最後になりますが、病理解剖はご遺族をはじめ、主治医や病理医、検査技師等の多くの方々の協力のもとで行われています。この場をお借りして感謝申し上げるとともに、あらためて患者様のご冥福をお祈りいたします。



地域医療支援病院運営委員会 開催報告

地域医療連携部 野田頭奈津子

令和4年11月29日当院にて地域医療支援病院運営委員会が開催されました。

十和田市立中央病院は、令和元年10月28日付で「地域医療支援病院」の承認を受けました。



〈地域医療支援病院とは〉

- ①紹介外来性を原則としていること
- ②地域の医療従事者に対し、建物・設備機器等を共同利用できる体制を整えていること
- ③24時間体制の救急医療を提供すること
- ④地域の医療従事者の資質向上のために研修会を実施すること

この4点が要件となっており、国が定める一定の要件を満たすことが義務付けられています。

地域医療支援病院の承認にあたり、年に4回の会議を執り行うことも継続するための要件となっており、運営委員会には上十三医師会会長の小嶋先生をはじめ、上十三歯科医師会・上十三薬剤師会、各種行政担当者の皆様から出席いただき、地域医療の課題や解決策など貴重なご意見をいただいております。地域の医療機関・介護施設等との連携を図り、地域医療の確保・向上に努めて参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力を宜しくお願い致します。



「出前講座」開催報告

リハビリテーション科 技師長 清水涼子

令和4年11月16日(水)市内の小規模多機能型居宅介護「くらしの家」に於いて医療介護従事者及び施設入居者への出前講座を開催しました。「骨粗鬆症ってどんな病気？診断・検査・治療について」は、理学療法士 清水涼子が「高齢者の運動療法について」は、理学療法士、川門前洗太が講師を務めさせて頂きました。高齢者の転倒、転落から骨折に至る症例が年々増加しており、今回の講座が施設内での転倒予防に繋がれば幸いです。



緊急被ばく医療合同訓練事前勉強会

業務課 施設管理係 山本稔



令和4年12月8日、日本原燃及び北部上北消防本部と合同で実施している「緊急被ばく医療合同訓練」の事前勉強会を実施しました。コロナウイルスの影響もあり過去2年間開催していませんでしたが、今年は状況を考慮しながら勉強会を実施しました。放射線に関する基礎知識から実際に患者を受け入れた時の資機材の養生の仕方、防護服の着脱のやり方等日本原燃のスタッフと共に約17名の参加者が真剣に取り組んでいました。実際の訓練は、当院の現状を鑑みて中止という事になりましたが、来年度は実施していきたいと思えます。



令和4年度 十和田市民「あんしん生活活用講座」～地域共生まるとケア～開催のお知らせ

テーマ『生前贈与・遺産相続について』 講師：いずみ法律事務所 鈴木陽大先生、花生耕子先生

◎日時：2/17(金) 18:30～19:30 無料(要予約) ◎会場：当院正面エントランス ◎申し込み方法：2/13までに

☎ ☎5121(当院医療介護連携相談支援センター)か、右のQRコードからお申込みください。来場(先着50名)もしくはオンライン(ZOOM)にて視聴いただけます。●1回参加毎に《健康とわだポイントラリー》10ポイントつきます!



※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止や変更になる場合がありますのでご了承ください。



外来担当医表

※随時更新しておりますので、下記のURLからのご確認をお願いします。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>